

	前回（2016年4月判断）	2016年7月判断	前回との比較*
北海道	緩やかに回復している	緩やかに回復している	⇒
東北	新興国経済の減速に伴う影響などから生産面で弱含んだ状態が続いている中、基調としては緩やかな回復を続けている	生産面に新興国経済の減速に伴う影響などがみられるものの、基調としては緩やかな回復を続けている	⇒
北陸	回復を続けている	一部に鈍さがみられるものの、回復を続けている	⇒
関東甲信越	輸出・生産面に新興国経済の減速に伴う影響などがみられるものの、緩やかな回復を続けている	輸出・生産面に新興国経済の減速に伴う影響などがみられるものの、緩やかな回復を続けている	⇒
東海	自動車関連での生産停止の影響から輸出・生産が一時的に減少したとみられるものの、基調としては緩やかに拡大している	自動車関連での工場事故や熊本地震の影響から輸出・生産面で振れがみられるものの、基調としては緩やかに拡大している	⇒
近畿	輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに回復している	輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかに回復している	⇒
中国	緩やかに回復している	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかな回復基調を続けている	⇩
四国	緩やかな回復を続けている	緩やかな回復を続けている	⇒
九州・沖縄	新興国経済の減速などの影響を受けながらも、緩やかな回復を続けている	熊本地震の影響により急速に下押しされた後、観光面などで弱い動きが続いているものの、供給面の制約は和らいできており、緩やかに持ち直している	⇩

*前回（2016年4月）との比較の△、◇は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる

[日本銀行 地域経済報告](#)